

人手不足に立ち向かう！

省力化事例

深刻化する人手不足に対し、自動化・効率化を進め、省力化につなげている会員企業の事例を紹介します

case

04



テーマ

外観検査・梱包プロセスの自動化



作業を分解して「必要な部分」に絞り ロボット化することで費用負担を軽減

現在生産している電子部品は、今後の成長が期待されていて、顧客からも生産体制の強化が求められています。設備の余力はあるものの、全数外観検査が必須であり、現状の体制では生産能力に限界がありました。そこで、めっき設備排出後から梱包までの後工程全体のロボット化を検討しましたが、仕様が複雑で高額な設備になることが分かり一時断念。翌年、工程を分解・分析をしてロボット化する工程を「検査」「梱包」作業に絞り込み、さらに補助金を活用することで費用面の負担を軽減しました。

外観検査は、通常マンツーマンで1カ月以上かかる教育プロセスが必要となる技術です。現状、ロボットは人の3倍の時間をかけて検査しますが、人の検査にかかるストレスや時間は無くなり、教育を受けていない新人でもロボットに検査を任せる形で実施できるようになりました。

事業所 PROFILE

神谷理研株式会社



神谷公彦 常務取締役(右)と福田俊一郎 技術課課長

1954年創業。めっき・塗装を中心に表面処理技術を提供。環境に配慮した高品質な製品を通じ、電子部品や自動車部品など、さまざまな業界ニーズに対応している。従業員は127人。

ロボット化実現までの流れ

1. 構 想 ▶ 商工会議所に相談
情報収集 ▶ ロボット導入セミナー、相談会に参加
2. 提案依頼書作成① ◀ めっき設備排出後から梱包まで、後工程の完全自動化を検討
3. Slerからの提案 ▶ 費用が見合わず、採用に至らず
4. 提案依頼書作成② ◀ 検査・梱包作業に絞り込み
5. Slerとのマッチング ▶ ロボットSlerからの提案
オーム電機を選定
6. システム構築
7. ロボットの本格稼働

ロボット導入に活用した補助金

- ものづくり補助金（国）
- 静岡県 FS 補助金（県）

ハマロボSlerナビ <https://hama-robo.com/>

浜松商工会議所のネットワークを生かし、製造業とロボット Sler 企業とのベストマッチングを提供。

- ロボット導入相談（無料）
- ロボット導入事例紹介
- ロボット Sler 紹介

本事例の詳細はこちら



省力化事例の取材企業を募集します

取材申込先：浜松商工会議所 情報推進課 TEL.053-452-1110

